Kitakyushu
SDGs

北九州市サステナビリティボンド（SDGs未来債）

Impact Report Handbook

SDGs未来都市としての
北九州市の取組

SDGsの達成に向けて ～日本で一番住みよい街へ～

Kitakyushu SDGs

- 2018年4月に、OECDよりアジア地域では初めて「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定され、 同年6月には国より「SDGs未来都市」に選定されるなど、国内外で高い評価をいただいています

～「SDGs」とは～

- 2015年9月の**国連サミット**で、**すべての加盟国（193ヵ国）が採択した国際目標**
- 発展途上国のみならず、**先進国自身も取り組む**
- **2030年まで**の目標であり、**17の目標（ゴール）の達成**を目指している

～ 北九州市と「SDGs」～

- 本市は以下のとおり、国内外で高い評価をいただいています

2017年12月	• 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞 ➢ 280団体以上が応募し、12団体が受賞(自治体は本市と下川町のみ)
2018年4月	• OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定 ➢ アジア地域で初めて選定
2018年6月	• 国より「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定 ➢ 29都市選定(うちモデル事業10都市)
2018年8月	• 国の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会長に北九州市長が就任

オール北九州でのSDGs達成に向けた取組

- 平成30年11月、産官学民、様々なステークホルダーの連携・交流プラットフォームとして「北九州SDGsクラブ」を創設。
  北九州SDGsクラブでは、地域課題の解決に向けた民間主体のプロジェクトチームが発足し、会員同士が連携してSDGsの達成に向けた取組を推進しています

北九州SDGsクラブ

北九州市SDGs協議会【有識者会議】

市民　企業　学校　団体（NPO）

会員間のパートナーシップ（マッチング）
- 交流会（活動発表）
- 情報発信

会員数【2024.5月末現在】

2,266	企業	学校	団体	市民
	1,182	249	275	560

助言 ↓　↑ 支援

北九州市

「プロジェクトチーム」

地域課題の解決のため、共通の課題を持ったクラブ会員が主体的にプロジェクトを立ち上げ、会員同士が連携してSDGsの達成に向けた取組を行う。

地域の課題解決のための具体的なプロジェクトの実行

市民　企業　学校　団体

SDGs達成への先駆的な取組 ｜ 地域課題の解決 ｜ 会員間の連携促進

▶ **イノベーション加速**　・取組みの「具体化」　・SDGsの「見える化」

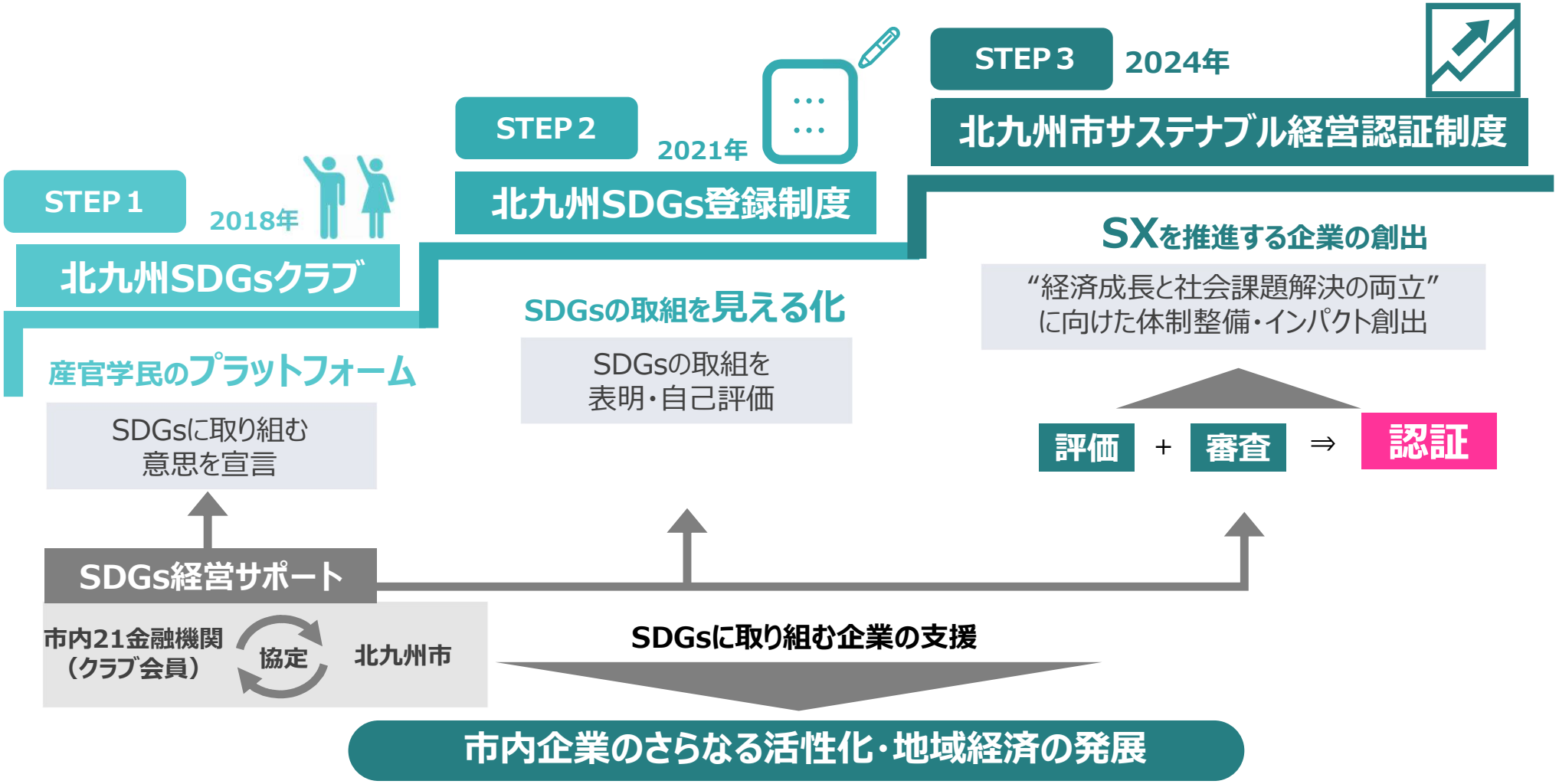
＜発足したプロジェクト＞
2019年度：4件（防災、高大接続など）
2020年度：2件（まち美化、紙の循環と障がい者の雇用促進）
2021年度：1件（住宅端材のアップサイクルと障がいのある人の雇用促進）
2023年度：1件（産官学民が連携した環境教育の実施）

Kitakyushu SDGs

2021年の春に開催し、ポストコロナ時代の新しい生き方のビジョンを発信した「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」のレガシーを引き継ぎながら、SDGsの実現を目指すという本市のメッセージを視覚化するため、北九州SDGsマークを制作しました

サステナブル経営による企業の競争力UP

- 2020年1月、北九州SDGsクラブ会員である金融機関と、「SDGsの達成」という共通の目標のもと、地元企業のSDGsの取組を支援するため、協定を締結しました
- 2021年8月には、企業のSDGsの取組を「見える化」するため「北九州SDGs登録制度」を創設しました
- 2024年7月、企業の本業による「利益追求」と「社会課題解決」の同時実現を目指す「北九州市サステナブル経営認証制度」を創設しました

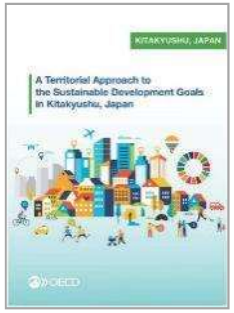


「OECD SDGs北九州レポート」が完成
アジア地域初！「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」【北九州市】

Kitakyushu SDGs

- 本市は、平成30年4月に、世界38ヵ国が加盟する国際機関OECDより、「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」として、アジア地域で初めて選定されました
- その後、約2年にわたる、OECDの独自の分析・調査を経て、「OECD SDGs北九州レポート」が完成しています

OECD SDGs北九州レポート



（英語版）表紙

（日本語版）表紙

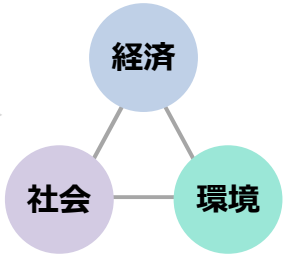
OECD（経済協力開発機構）：世界最大のシンクタンク

OECDが、世界９つのモデル都市の１つに本市を選定し、アジア唯一の「SDGsレポート」として、世界に発信！

OECDより評価された3つの優良事例

- **国際協力！**
- **子ども食堂！**
- **洋上風力発電！**

SDGsを活用した相乗効果を創出！



Kitakyushu SDGs

「世界のSDGsモデル都市」に選定
（H30.4 OECDとの共同記者会見）

国連会合でアジア唯一の首長発表！
（H30.7 ニューヨーク国連本部）

“国内外”へ向けて北九州市のSDGsを発信！

期待される効果

- **ESG投資の呼び込み**
- **SDGsの認知度向上**
- **環境と経済の好循環**

SDGs未来基金・サステナビリティボンド

- 令和3年4月、SDGsの達成に資する事業を積極的に推進するための安定的な財源として、新たな基金を創設しました
- 令和3年10月、SDGs達成に向けた取組を推進するための資金調達の一環として、自治体初となる「サステナビリティボンド」、 愛称「北九州市SDGs未来債」を発行しました

SDGs未来基金　令和3年4月創設

SDGsの達成に資する事業を積極的に推進するための安定的な財源として新たな基金を創設

北九州市 SDGs未来債　自治体初

SDGs達成に向けた取組を推進するための資金調達の一環として、自治体初となるサステナビリティボンドを発行

募集した資金は、SDGs関連プロジェクトに活用

洋上風力発電関連事業

新科学館の整備

豪雨災害等の防災対策事業

特別支援学校の整備

“市の持続可能な未来” に繋げていきます

北九州市のSDGs施策 ～OECDに評価された優良事例～

Kitakyushu SDGs

- OECDより、「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」として、国際協力、子ども食堂、洋上風力の事例にて特に高い評価を獲得しています。引き続き、経済・社会・環境の相乗効果により、先進的な取組を継続してまいります

国際協力・ビジネス

北九州市は公害克服の経験や技術を活かしアジア地域への国際協力に取り組んできた。さらに「エネルギーマネジメント」「廃棄物処理」「水ビジネス」などの分野を中心にアジア諸都市や企業のニーズに応える「都市インフラ輸出」を進めている

国際技術協力

各国へ専門家を派遣
各国から研修員を受入
・経験やノウハウの蓄積、・人材育成
・人的ネットワークの形成

グリーンシティ輸出

①公害克服の経験・ノウハウ
②環境・エネルギー技術
③都市間連携等のネットワーク

アジア地域における脱炭素化へ貢献

環境姉妹都市・姉妹都市協定締結

スラバヤ市（インドネシア）
ハイフォン市（ベトナム）
プノンペン都（カンボジア）
ダバオ市（フィリピン）

カンボジアでの技術協力

海外水ビジネス

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」と連携し
ベトナム、カンボジアを中心に海外水ビジネスを展開

第25回日本水大賞にて大賞を受賞
・上下水道局の30年以上にわたる国際協力の活動が認められる
・自治体が海外で実施した取り組みでの大賞受賞は初

子ども食堂

平成28年度からモデル事業として子ども食堂を実施。平成29年8月には「子ども食堂ネットワーク北九州」を立ち上げ、取組をバックアップ

子ども食堂とは

地域の大人が子どもに無料または低額で食事を提供する取組

孤食の防止、地域の子どもの居場所確保

子ども食堂の様子

子ども食堂ネットワーク北九州

民間を主体とした子ども食堂の活動の支援のため、「子ども食堂ネットワーク北九州」において、情報提供や意見交換、研修、寄付の関係など様々なサポートを行い、子ども食堂関係者の負担を軽減

(1) 子ども食堂に関する情報提供や意見交換
(2) 衛生管理に関する研修等
(3) ボランティアや寄付関係
(4) 行政団体等との対応

子ども食堂の登録制度

市が定める一定の基準をクリアした子ども食堂は「市の事業に準ずる活動をする子ども食堂」として、市民センターを全額減免で利用可能

洋上風力

若松区響灘地区のポテンシャルを活かし、風力発電関連産業の「総合拠点」の形成に向けた取組を平成23年度から進めている

総合拠点とは

風力発電関連産業に必要な４つの拠点機能を集積した「総合拠点」を形成

① 積出・建設
② 物流
③ 製造産業
④ O&M

関連施設・企業の誘致を進行中

風車機種候補
※写真は同型モデルの風車

総合拠点のイメージ図

北九州市令和5年度
サステナビリティボンド
(愛称：北九州市SDGs未来債)
の概要

北九州市令和5年度サステナビリティボンド　発行概要（機関投資家向け）

- 令和5年度は、北九州市サステナビリティボンド（北九州市SDGs未来債）として、9月に機関投資家向けに100億円を発行しました

令和5年度 機関投資家向け

項目	発行概要
銘柄名称	第3回北九州市サステナビリティボンド10年公募公債 （北九州SDGs未来債）
年限	10年（償還日 令和15年9月22日：満期一括償還）
発行額	100億円
利率	0.747%
発行時期	9月22日（金曜日）
主幹事会社	• みずほ証券株式会社（事務） • 大和証券株式会社 • SMBC日興証券株式会社
購入対象先	機関投資家

北九州市令和5年度サステナビリティボンド　発行概要（個人投資家向け）

- 令和5年度は、北九州市サステナビリティボンド（北九州市SDGs未来債）として、10月に個人投資家向けに10億円を発行しました

令和5年度　個人投資家向け

項目	発行概要
銘柄名称	第3回北九州市サステナビリティボンド5年公募公債 （個人向け）（北九州市SDGs未来債）
年限	5年（償還日 令和10年10月30日：満期一括償還）
発行額	10億円
利率	0.433%（税引き前）
発行時期	10月30日（月曜日）
募集期間	10月6日（金曜日）～ 23日（月曜日）
購入限度額	お一人様1,000万円まで（1万円から1万円単位）
購入対象先	（1）北九州市内にお住まいか、お勤めの個人 （2）北九州市内に事業所のある法人・団体 （3）北九州市を応援する個人・法人等

北九州市令和5年度サステナビリティボンド　投資家一覧

- 機関投資家向けサステナビリティボンドにて、72件の投資家の皆様より発行意義に共感いただき、投資表明を実施いただきました
- 個人投資家向けでは、市内・市外双方の315人・団体の皆様に購入いただきました

令和5年度 機関投資家向け債　投資表明投資家一覧

- 会津よつば農業協同組合
- 一般財団法人　簡易保険加入者協会
- 宇城市
- 大川市
- 可児市水道事業
- 株式会社　ドーワテクノス
- 株式会社東日本銀行
- 北九州管工事協同組合
- 共愛会健康保険組合
- 公益財団法人
自動車リサイクル促進センター
- 社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会
- 松塩筑木曽老人福祉施設組合
- 大刀洗町
- 東京製鐵株式会社
- 西尾信用金庫
- ひびき灘開発株式会社
- 福岡ひびき信用金庫
- 北海道信用金庫
- アオヤギ　　株式会社
- 一般社団法人 福岡市医師会
- 梅崎礦業株式会社
- 沖縄県信用保証協会
- 株式会社　荏原電気
- 株式会社西日本シティ銀行
- 株式会社福岡銀行
- 北郡信用組合
- 公益財団法人 かながわトラストみどり財団
- 公益財団法人
住宅リフォーム・紛争処理支援センター
- 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
- 信金中央金庫
- 築上町
- 特定医療法人　豊司会　新門司病院
- 日本赤十字九州国際看護大学
- 氷見市農業協同組合
- 福島県
- 丸亀市モーターボート競走事業
- 石川県信用保証協会
- 一般社団法人　明専会
- エイジス九州株式会社
- 粕屋農業協同組合
- 株式会社ケイ・イー・エス
- 株式会社西日本メタル
- 株式会社北洋銀行
- 岐阜県
- 公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
- コザ信用金庫
- 社会福祉法人 島原市社会福祉協議会
- 吹田市
- 賃貸プロデュース株式会社
- 特別養護老人ホーム第二長寿園
- 半田電設工業　株式会社
- ひろしま農業協同組合
- ふくしま未来農業協同組合
- 三菱UFJ国際投信株式会社
- いちい信用金庫
- 医療法人海の弘毅会
- 江戸川区
- 学校法人　ぜんりょう学園
- 株式会社ザザホラヤ
- 株式会社日本貿易保険
- 株式会社みずほ銀行
- 九建架線工事株式会社
- 公益財団法人 北九州市環境整備協会
- JA 共済連
（全国共済農業協同組合連合会）
- 社会福祉法人　禅心会
- 第一交通産業株式会社
- テラダ産業株式会社
- トヨタカローラ博多株式会社
- 尾西信用金庫
- 福岡県直方市
- 福豊帝酸株式会社
- メック株式会社

（五十音順）

令和5年度 個人向け債の投資家

- **購入者**：315人・団体（うち市外在住の本市を応援する個人・法人等：61人・団体）
- **市外購入者の例**：過去に北九州市内に在住・勤務していた個人
親族が北九州市内に在住する個人
仕事で北九州市内を来訪する個人

令和5年度
北九州市SDGs未来債
サステナビリティボンド・フレームワーク
にもとづく
レポーティング

令和5年度 サステナビリティボンドの管理・運営・透明性評価について

プロジェクトの評価及び選定のプロセス	● 資金使途は本市のSDGs達成に向けた取組を推進するものに充当します。個別事業は、必要に応じて公共事業評価や環境アセスメントなど専門性のある審査を経て北九州市議会が審議・議決し、予算として計上したもので、この中から財政・変革局財政課及び関係部署で協議して選定、財政局長が最終決定しています。
調達資金の管理	● 調達資金は調達した年度中に対象事業に全額充当します。調達資金は財政・変革局財政課が起債管理システムにおいて、調達した資金毎に、充当した事業を常時追跡・管理するほか、内部監査を通じて残高を確認します。 ● 充当されるまでの間は現金または現金同等物にて管理します。充当計画に大きな変更が生じる等の重要な事象が生じた場合は、年次での開示に限らず適時に開示します。
レポーティング	● 資金充当が完了するまでの間、資金充当状況および環境改善効果・社会的成果に関する情報を本市のウェブサイトにて開示します。調達資金の充当計画に大きな変更が生じた場合や、充当後に充当状況に大きな変化が生じた場合は、速やかに開示します。

令和5年度 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポーティング
～ グリーンプロジェクト ～

Kitakyushu SDGs

- 再生可能エネルギーなど脱炭素社会の実現に向けた対応、令和5年度から資金使途として追加したグリーンビルディングにも充当し、以下の環境改善効果を有する事業に充当しました

プロジェクト分類	対象事業	充当金額（百万円） 機関投資家分	充当金額（百万円） 個人分	効果/実施事業内容
再生可能エネルギー	■ 響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用した、風力発電関連産業の総合拠点の形成	124.9	120	■ 洋上風力発電に係る基地港湾整備 0.18ha、響灘東地区SEP船等基地化 0.4ha ■ R6年度目標：響灘地区総合拠点利用ファーム数 5件（R5年度時点2件）、響灘地区総合拠点の産業用地利用率 80%（R5年度時点33%）
気候変動への適応	■ 河川整備	1,423	104.2	■ 護岸改修：合計441m（長野川、江川等）、護岸長寿命化改修47か所、河川維持事業（浚渫）1,603㎥、河道掘削782㎥（板櫃川）、水門、井堰などの改築：6施設、河川情報システム通信回線強化、橋梁架け変え：2箇所 ■ 整備により減少する被害戸数： （一例）紫川13,000戸（R24年度完了後の予定数）
	■ 上下水道整備 ※持続可能な水資源・廃水管理にも該当	800	-	■ 豪雨対策の拡充・強化（浸水対策工事）：5か所、392m ■ 合流式下水道で整備された地域の分流化工事：14か所、5,978m
	■ 港湾整備	1,707.6	58.5	■ 胸壁整備164m （新門司北地区）、塗装工1,300㎡、防護柵工490m(響灘東地区)、泊地等浚渫6,960㎥　等 ■ 整備件数：9件
	■ 道路整備	-	24	■ 中学校の法面改修工事　271㎡
汚染の防止及び抑制	■ ごみ処理施設等の整備	2,271.6	146.4	■ 新日明工場、皇后崎工場の工場整備 ■ R7年度リサイクル率30%以上、R7年度CO2排出量60千トン以下を見込む（R4年度時点　26.6%、86千トン(概算値)）
生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	■ 地域固有の生態系の保全と自然環境に配慮したまちづくり（公園整備等）	820	25.9	■ 緑化面積：合計20,728㎡、公園整備面積：合計122,928㎡ ■ 市内の緑に親しむ公的空間の確保量（一人当たりの都市公園面積）：13.00（㎡/人）
グリーンビルディング	■ 門司複合公共施設整備事業	133.5	1	■ 松ヶ枝北市民センター　　Nearly ZEBを取得、9.7t-CO2/年削減見込み ■ 門司港地域複合公共施設　ZEB Readyを取得、237.3t-CO2/年削減見込み
エネルギー効率	■ 公共施設のエネルギー消費量の削減（市保有施設の照明のLED化や老朽化施設やエネルギー多消費施設における省エネ機器の採用等）	35.3	20	■ 422個の照明LED化により、114.4MWh、38.5t-CO2/年削減見込み
合計 金額		**7,315.9**	**500**	
合計 比率		**73.2%**	**50%**	

令和5年度 資金の充当状況・社会的成果に係るレポーティング
～ ソーシャル ～

Kitakyushu SDGs

● 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境整備等、以下の社会課題の解決に資する事業に充当しました

プロジェクト分類	対象事業	充当金額（百万円） 機関投資家分	充当金額（百万円） 個人分	効果/実施事業内容 アウトプット	効果/実施事業内容 アウトカム	(参考)インパクト
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 特別支援学校整備	300.6	25.4	■ 小倉特別支援学校整備（現地建替） ■ 小池特別支援学校整備（移転建替）	■ 利用者数合計：436人 (児童生徒数、R6.5.1時点)	誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備
	■ 総合療育センター整備	-	7	■ 総合療育センターにて麻酔システム2台更新	■ 麻酔システム使用件数：歯科用95件、手術用10件(R6年1~3月)	
	■ 保育所等整備	137	22	■ 老朽改修に伴う施設整備：4箇所 ■ 老朽化直営保育所等施設改修工事：16箇所 ■ 児童養護施設の施設整備：2箇所 ■ 放課後児童クラブ整備：1箇所	■ 保育園等 定員数合計1,930人 ■ 児童養護施設 定員数合計71人 ■ 放課後児童クラブ　定員数合計76人	
	■ 小中学校等整備	1,992.1	41.4	■ 学校施設等改修：小学校52校、中学校31校 ■ 大規模改修：小学校9校、中学校3校 ■ 外壁改修：小学17校、中学校3校 ■ 不足教室対策：小学校6校 ■ 学校トイレ整備：小学校20校 ■ 消防施設整備：小学校23箇所、中学校8箇所 ■ グラウンド改修：小学校2箇所　等	■ 小学校：343人/1校 ■ 中学校：350人/1校 （市内の生徒数/学校数で算出、R6.5.1時点）	
	■ 青少年育成・学習施設等整備	22.8	3	■ 玄海青年の家の整備 (地下タンク改修、熱源設備改修工事) ■ 畑キャンプセンターの整備 (外壁補修工事) ■ 中央図書館の整備 （屋外防水改修・窓廻り防水改修） ■ 図書館施設の改修工事　2館	■ 玄海青年の家：利用者数19,966人(R5年度) ■ 畑キャンプセンター：利用者数1,706人(R5年度) ■ 中央図書館の整備：利用者数234,146人(R5年度) ■ 図書館施設：利用者数364,331人(R5年度)	
手ごろな価格の基本的インフラ設備	■ 避難場所、消防施設等の整備・改修 ※必要不可欠なサービスへのアクセスにも該当	231.6	401.2	■ 消防施設の長寿命化：12件 ■ 消防団施設整備：9件 ■ 消防施設の車両整備：3件 ■ スポーツセンター・体育館（予定避難所）の整備	■ 想定受入人数 香月スポーツセンター：564人	防災機能の強化によるレジリエンスな社会
合計 金額		**2,684.1**	**500**			
合計 割合		**26.8%**	**50%**			

令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について①

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
再生可能エネルギー	■ 響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用した、風力発電関連産業の総合拠点の形成	■ 温室効果ガスの排出削減

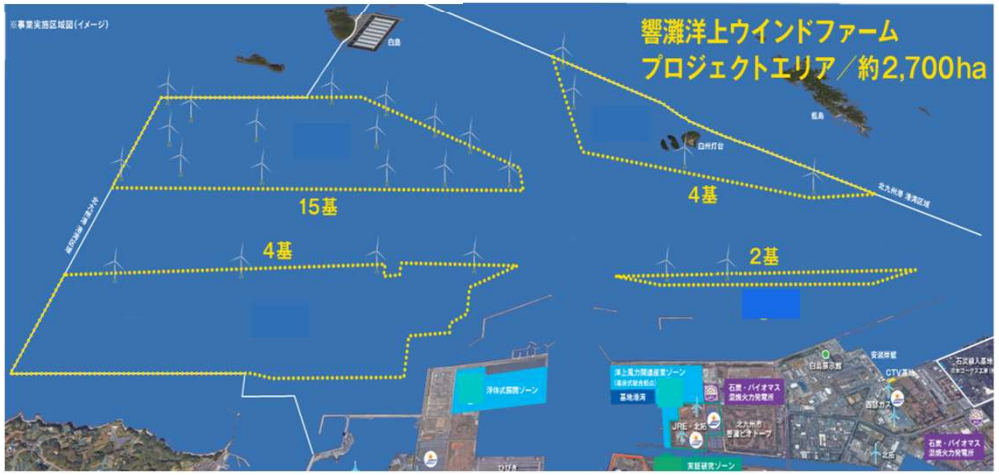
風力発電関連産業の総合拠点化

本市の強み
～西日本で唯一の基地港湾～

響灘地区港湾（整備実施中）

完成イメージ①

完成イメージ②



- 本市は、若松区響灘地区のポテンシャルを活かし、風力発電関連産業の「総合拠点」の形成に向けた取組を平成23年度から進めています。
- この取組により、響灘洋上ウィンドファームで年間約22万kWの電力を生み出すこととともに、産業や物流、経済の活性化や雇用の創出も目指しています。
- R5年度は、以下の整備事業等を実施しました。

① 洋上風力発電施設の設置に必要な基地港湾の整備を実施

② 響灘東地区に入港するSEP船(※)が岸壁を適切に利用できるよう、海底面の調査を行い、必要な整備を実施　※SEP船：自己昇降式作業台船

- 引き続き、他都市に先駆けて風力発電関連産業の総合拠点化に取り組むことにより、再生可能エネルギーの活用による温室効果ガスの排出削減に貢献してまいります。

整備面積（洋上風力発電に係る基地港湾整備）	0.18ha (全体4.6ha)
整備面積（響灘東地区SEP船等基地化事業 ）	0.4ha (全体1.2ha)
響灘地区総合拠点利用ファーム数	5件 (R6年度目標) (R5年度時点2件)
響灘地区総合拠点の産業用地利用率	80% (R6年度目標) (R5年度時点33%)

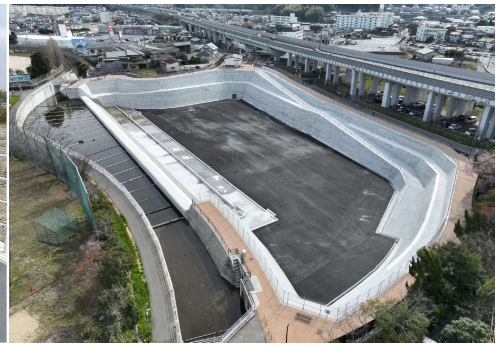
令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について②

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
気候変動への適応	■ 河川整備 ■ 上下水道整備 ※持続可能な水資源・廃水管理にも該当	■ 水災害など発生時の浸水、土砂被害の緩和 ■ 水災害など発生時における安全・安定的な水道インフラの供給 ■ 汚水の放流先の汚濁負荷低減

河川整備

長野川

金山川



- 浸水被害の軽減、災害が発生した際の市民の命・生活・財産を守るため、河川整備を進めました。
- 河川整備では、長野川、江川等の護岸改修や、高瀬川の調査・設計、47か所の護岸長寿命化改修等を行いました。

護岸改修距離	合計441m（長野川、江川等）
護岸長寿命化改修	47か所
水門、井堰などの改築	6施設

上下水道整備

昭和町雨水貯留管内完成状況

- 豪雨による浸水被害を減らし、雨に強い安全なまちづくりを進めるため、上下水道整備を進めました。
- 「北九州市上下水道事業基本計画」及び「北九州市上下水道事業中期経営計画」に基づいて、浸水対策整備工事を行いました。

整備件数	5件
整備距離	392m

令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について③

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
気候変動への適応	■ 港湾整備 ■ 道路整備	■ 水災害など発生時の浸水、土砂被害の緩和

港湾整備

新門司北地区(俯瞰)

新門司北地区(接写)

- 高潮対策（新門司北地区）や泊地の維持浚渫等、災害を未然に防止するための工事を行いました。
- 「北九州市地域防災計画」及び「北九州市強靭化地域計画」に基づいて、自然災害時の安全な通行の確保、安全に利用できる水域面積の確保を企図しています。

胸壁整備（新門司北地区）	164m
塗装工・防護柵工(響灘東地区)	1,300㎡・490m
泊地等浚渫	6,960㎡
整備件数	9件

道路整備(法面改修)

若松中学校の法面改修

（改修前）

（改修後）

- 水災害など発生時に、人工的傾斜面や自然斜面が崩壊・落石しないように、保護・強化・安定化を図るため、若松中学校にて法面改修工事を行いました

若松中学校の法面改修工事	271㎡

令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について④

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
汚染の防止及び抑制	■ ごみ処理施設等の整備	■ 大気汚染物質の排出削減 ■ 水質汚染物質の排出削減
生物自然資源 及び土地利用に係る 環境維持型管理	■ 地域固有の生態系の保全と自然環境に配慮したまちづくり （公園整備等）	■ 干潟の環境維持 ■ 多種多様な希少生物の生息地の保全

ごみ処理施設等の整備

日明工場建設事業　建設現場

完成予想図

- 大規模災害時に大量発生する災害廃棄物にも対応できるよう、焼却工場の安定操業に不可欠な設備で、損耗や経年劣化の激しいものについて、大規模な整備や 更新により機能回復を図っています。「第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画」に基づき、リサイクル率の向上や温室効果ガス削減の取組の一環として整備 を進めています。
- 皇后崎工場の施設健全化や新日明工場の建設等を進めました。

整備進行中の工場の数	2箇所
リサイクル率	30%以上(R7年度見込み)
CO2排出量	60千トン以下(R7年度見込み)

地域固有の生態系の保全と自然環境に配慮したまちづくり（公園整備等）

曽根･豊岡地区公園整備

- 曽根･豊岡地区は、産業団地エリアと曽根干潟との境界エリアに位置する「緩衝緑地帯」としての役割が求められることから、「環境保全地区」として位置付けられています。また、曽根干潟は、カブトガニの産卵やズグロカモメなど多種類の渡り鳥が飛来する世界でも貴重な生息地として認識されています。

- 曽根･豊岡地区公園整備を始めとする公園整備事業を進め、市内の緑に親しむ公的空間の確保量（一人当たりの都市公園面積）の向上を見込んでいます。（13.00㎡/人）

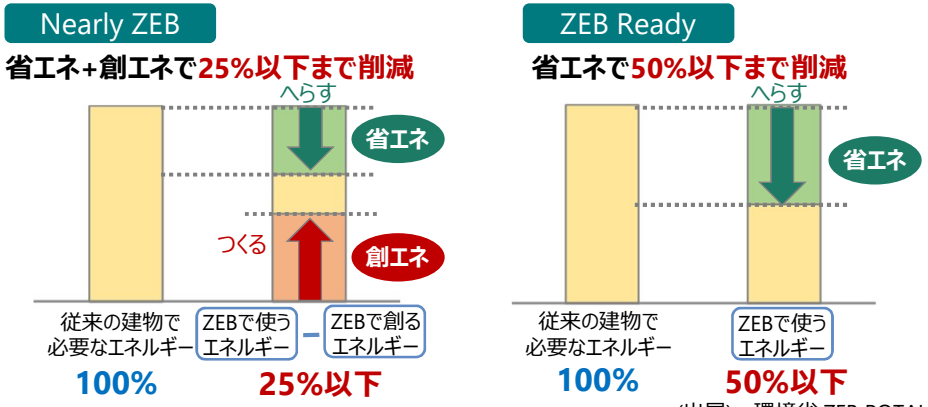
緑化面積	合計20,728㎡
公園整備面積	合計122,928㎡
市内の緑に親しむ公的空間の確保量（一人当たりの都市公園面積） 13.00㎡/人	

令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑤

プロジェクト分類	対象事業	環境面での便益
グリーンビルディング	■ 環境性能の高い市有施設の新築・改修	■ 環境負荷の低減（温室効果ガス排出削減）
エネルギー効率	■ 公共施設のエネルギー消費量の削減（市保有施設の照明のLED化や老朽化施設やエネルギー多消費施設における省エネ機器の採用等）	■ 温室効果ガスの排出削減 ■ エネルギーの利用削減

環境性能の高い市有施設の新築・改修

ZEBの定義



(出展)：環境省 ZEB POTAL

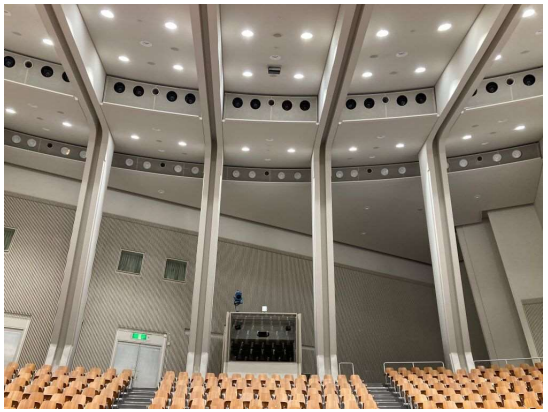
- 市民センターのZEB化改修・門司港地域複合公共施設整備で脱炭素化を進めています。
- 松ヶ枝北市民センターはNearly ZEB相当の整備を進めており、環境改善効果としてエネルギー消費削減率75%以上を見込みます
- 門司港地域複合公共施設はZEB Ready相当の整備を進めており、環境改善効果としてエネルギー消費削減率50%以上を見込みます

松ヶ枝北市民センターの改修	Nearly ZEBを取得、9.7t-CO2/年削減見込み
門司港地域複合公共施設整備	ZEB Readyを取得、237.3t-CO2/年削減見込み

公共施設のエネルギー消費量の削減

LED照明の設置

北九州市立大学のLED化工事



- 道路照明のLED化や北九州市立大学等の施設のLED化工事など、省エネ性能の高い設備に更新することにより電気使用量及びCO2排出量の削減を図りました。

LED化した照明灯数	422個
エネルギー削減量	114.4MWh
温室効果ガス削減量	38.5 t-CO2/年

令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑥

プロジェクト分類	対象事業	社会的な便益
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 特別支援学校整備 ■ 総合療育センター整備	■ 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備

特別支援学校整備

小池特別支援学校建替工事（建替前）　　**（建替後）**

- 小池特別支援学校の老朽化に伴う建替を行い、小倉北特別支援学校及び中央高等学園の移転建替工事に着手しました。特別支援教育の充実に今後も注力してまいります。

特別支援学校整備施設：3件

小池特別支援学校整備：現地建替
利用者数：167人（児童生徒数、R6.5.1時点）

小倉北特別支援学校：移転建替（2校併置）
利用者数：188人（児童生徒数、R6.5.1時点）

北九州中央高等学園：移転建替（2校併置）
利用者数：81人（児童生徒数、R6.5.1時点）

総合療育センター整備

麻酔システム

- 総合療育センターは障害のある方の医療・療育（リハビリテーション）のための施設です。
- 老朽化した麻酔システムを更新することで、より安心した医療を提供できるようになりました。
- 施設整備や医療機器等の整備により、利用者の増加や医療・福祉ニーズの多様化に対応できるよう機能強化を進めています。

総合療育センター：麻酔システム2台更新

令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑦

プロジェクト分類	対象事業	社会的な便益
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 保育所等整備 ■ 小中学校等整備	■ 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備

保育所等整備

到津保育所

- 到津保育所を始めとする保育所の老朽改築に伴う施設整備や、老朽化直営保育所施設改修工事を20箇所について実施しました。
- また、児童養護施設の移転工事や改修工事に加えて、児童クラブの新設工事などの整備を実施しました。

老朽改修に伴う施設整備 到津保育所、恒見保育園、石峰保育所、吉野保育所	対象施設4箇所　定員数：500人
老朽化直営保育所等施設改修工事 新門司保育所、今町保育所、下富野保育所、白銀保育所、東篠崎保育所、徳力保育所、徳吉保育所、蜷田保育所、貫保育所、若松コスモス保育所、堂山保育所、折尾保育所、黒崎保育所、西戸畑保育所、第1緑地保育センター、第2緑地保育センター	対象施設16箇所　定員数：1,430人
児童養護施設の施設整備 暁の鐘学園、双葉学園	対象施設2箇所　定員数：71人
放課後児童クラブ整備 くきのうみ放課後児童クラブ	対象施設1箇所　定員数：76人

小中学校等整備

横代中学校

- 包摂的で安全な学習環境を整備するため、学校施設等の改修工事や教育装置の整備等を実施しました。

学校施設等改修	小学校52校、中学校31校
大規模改修	小学校4校、中学校1校
外壁改修	小学校1校
不足教室対策	小学校3校
学校トイレ整備	小学校10校
消防設備整備	小学校18校、中学校6校
グラウンド改修	小学校2校
利用者数 （市内の生徒数/学校数で算出、R6.5.1時点）	小学校：343人/1校中学校： 350人/1校

令和5年度 サステナビリティボンドの資金使途について⑧

プロジェクト分類	対象事業	社会的な便益
必要不可欠なサービスへのアクセス	■ 青少年育成・学習施設等整備	■ 誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備
手ごろな価格の基本的インフラ設備	■ 区役所の自家発電設備整備 ■ 避難場所、消防施設等の整備・ 改修 ※必要不可欠なサービスへのアクセスにも該当	■ 防災機能の強化等

青少年育成・学習施設等整備

中央図書館

- 「玄海青年の家」、「畑キャンプセンター管理棟」の老朽化した箇所の改修工事を実施することにより、社会教育施設としての役割の強化を進めました
- また、中央図書館の改修も行い、環境整備を推進しました

玄海青年の家（地下タンク改修、熱源設備改修工事）
利用者数　19,966人(R5年度)

畑キャンプセンター（外壁補修工事）
利用者数　1,706人(R5年度)

中央図書館の整備（屋外防水改修・窓廻り防水改修）
利用者数　234,146人(R5年度)

図書館施設の改修工事　2館
利用者数　364,331人(R5年度)

避難場所・消防施設等の整備・改修

小倉北消防団第2分団本部移転新築工事

救急車の更新

- 円滑な災害対応力を維持するため、老朽化した消防施設の改修工事や消防施設の消防車や救急車を更新しました
- また、予定避難所としての香月スポーツセンターや体育館において、空調設備を整備しました。今後も一般の市民および災害等発生時の被災者を対象とする基本的インフラ整備を推進してまいります

消防施設の長寿命化　　12件

消防施設の車両整備　　9件

消防団施設整備　　3件

体育館（予定避難所）の空調設備の整備（調査・整備）　　3件
小倉北体育館、小倉南体育館、的場池体育館

予定避難所の想定受入人数　　香月スポーツセンター：564人

Kitakyushu
SDGs

本資料に関するお問い合わせ先

北九州市財政・変革局財務部財政課

〒803-8501　北九州市小倉北区城内1番1号

TEL：　093-582-2003

FAX：　093-582-2070

E-mail：zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp